

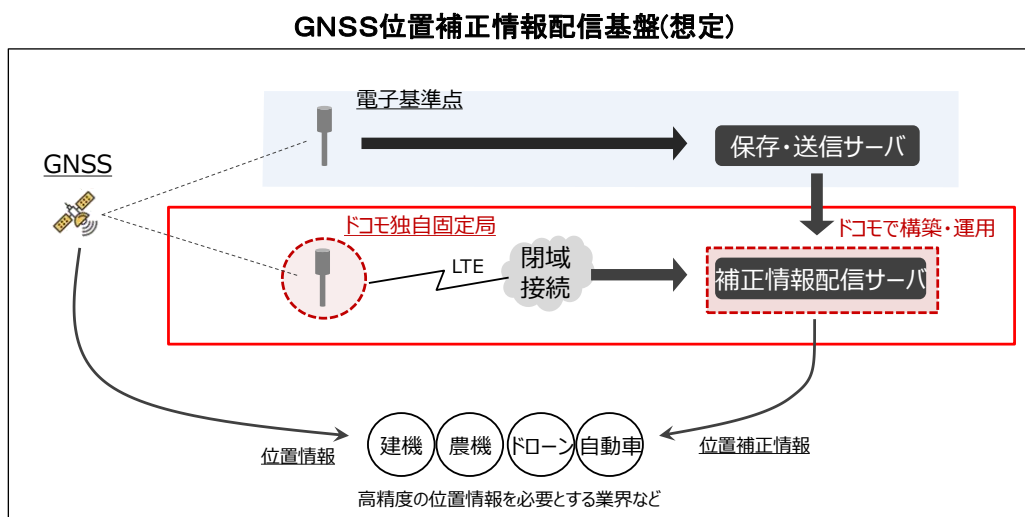
トピックス

誤差数センチメートルの高精度測位を実現する「GNSS位置補正情報配信」の技術検証を開始

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、測位衛星システムGNSS^{※1}を利用して、誤差数センチメートルの高い精度で位置を測ることができるシステム「GNSS位置補正情報配信基盤」の構築に向けて、その技術検証を2019年3月19日（火）より開始いたしました。

高い精度の位置情報を活用したビジネスは、各業界のIoT普及の鍵の一つとも言われており、建機（i-Construction）・農機（スマート農業）・自動車（車のICT革命）などのIoTビジネスの取り組みと共に、センチメートル級の位置補正情報の需要が高まっています。

ドコモが技術検証を開始した「GNSS位置補正情報配信基盤」は、既に国土地理院により全国に設置された約1,300点の電子基準点に加えてドコモ独自固定局^{※2}を設置した場合を想定したものです。電子基準点とドコモ独自固定局がGNSSから観測したデータは、携帯電話ネットワークを通じて、位置補正情報配信サーバーにより、位置情報を必要とする移動局^{※3}に配信され、誤差数センチメートルの高精度測位を実現します。



技術検証では、検証を行う移動局の近くにドコモ独自固定局を設置し、同時に技術検証用の位置補正情報配信サーバーを構築します。そして、実際に移動局で得られる測位データを検証することで、位置精度の品質やアンテナの電波干渉、位置補正情報配信サーバーの品質や運用性などを多角的に検証する予定です。

ドコモ独自固定局の設置に関しては、ドコモの既存設備の活用に加え、NTTグループの所有する設備などの利用を検討しております。また、位置補正情報配信サーバーの構築に関しても、NTTグループが有する先端技術※4に加え、コラボレーションパートナー※5のテクノロジーも活用することで、高品質な「GNSS位置補正情報配信基盤」の提供を実現いたします。

ドコモは、今後、これらの技術検証を進めるとともに、「GNSS位置補正情報配信基盤」の事業化の検討を行います。これにより、高精度位置情報を活用し、新たな産業創出に貢献すべく、社会的な基盤の実現に貢献できると考えております。

※1 GNSSは、Global Navigation Satellite Systemの略で、GPS、GLONASS、Galileo、準天頂衛星(QZSS)などの衛星測位システムの総称。

※2 GNSSの観測データを受信するため、ドコモが独自で設置する固定局のこと。

※3 位置補正情報を受信する側のこと。

※4 NTTグループが有する先端技術については、下記のページをご覧ください。

<https://labevent.ecl.ntt.co.jp/forum2018a/info/exhibit3/detail/G17.html>

※5 ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社(代表取締役社長 前田裕昭)

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社NTTドコモ
IoTビジネス部 ソリューション営業推進
プロジェクト推進担当
TEL: 03-5156-3200